

パターン1 <下線部の内容の具体的な説明>

問 次の文を読んで、下の設問に答えなさい。

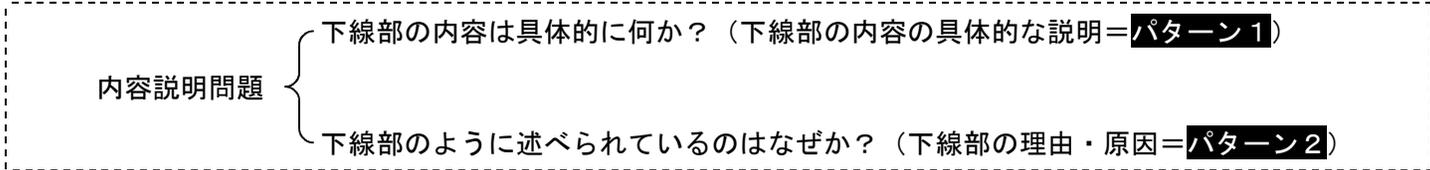
まず、実存主義であるが、実存主義にとって重要なことは、世界や人間をいかに解釈するかということではなくて、今ここにいる現実の存在たる私が、いかに生きるかが問題なのであり、主体的に生きぬくことを離れて思索ということは無意味であるという。したがって、(1)このような主体的、実践的な立場にとって、自由の概念は、その思想の中心的意義をもつ概念と考えられるのである。

実存主義に属する思想家の一人ヤスパースの考えによると、哲学の根本性格は、(2)「挫折を通じて超越すること」にある。つまり、对象的にせよ主体的にせよ、われわれの思索は、必ず、何らかの限界にぶつかって難破してしまう。しかし、この難破を通じて、実は、より広い深い地平が開かれてくるのである。そして、このような挫折を通じての超越は、言葉を換えて言えば、主体的な思索であり、実存的自由であるともいえる。

設問1 下線部(1)は具体的にどういうことか、日本語で説明しなさい。

設問2 下線部(2)は具体的にどういうことか、日本語で説明しなさい。

「実存主義なんか知らない！」 ≠ 「僕はこの問題が解けない」



パターン1 <下線部の内容の具体的な説明> { **1-A** 承前語句があれば前に答えアリ！
 { **1-B** 「同格の論理」や「抽象→具体の論理」では後ろに答えアリ！

1-A 承前語句があれば前に答えアリ！

まず、実存主義であるが、実存主義にとって重要なことは、世界や人間をいかに解釈するかということではなくて、今ここにいる現実の存在たる私が、いかに生きるかが問題なのであり、主体的に生きぬくことを離れて思索ということは無意味であるという。したがって、(1) **このような主体的、実践的な立場**にとって、自由の概念は、その思想の中心的意義をもつ概念と考えられるのである。

承前語句 { it - they それーそれら
 { this - these これーこれら
 { that - those あれーあれら
 { such そんな
 { the same 同じような
 { so そのような } があれば、その具体的な内容説明が前にアリ！

何を削る？＝副詞は、著者の主張に関わらない限りは削る。
 ・世界や人間をいかに解釈するかということではなくて今ここにいる現実の存在たる私がいかに生きるかが問題
 ・主体的に生き抜くことを離れて思索は無意味である

1-B 「同格の論理」や「抽象→具体の論理」では後ろに答えアリ！

実存主義に属する思想家の一人ヤスパースの考えによると、哲学の根本性格は、(2) **「挫折を通じて超越すること」**にある。**つまり**、対象的にせよ主体的にせよ、われわれの思索は、必ず、何らかの限界にぶつかって難破してしまう。しかし、この難破を通じて、実は、より広くて深い地平が開かれてくるのである。そして、このような挫折を通じての超越は、言葉を換えて言えば、主体的な思索であり、実存的自由であるともいえる。

同格語句 { namely つまり
 { in other words すなわち
 { that is [to say] 言い換えると } があれば、その具体的な内容説明が後ろにアリ！
 { i.e.
 { , / : / ;

同格語句を挟んで、その前に「抽象表現」、その後ろに「具体的説明」が来る。場合によっては同格語句が省略されることがあるので注意が必要。

何を削る？＝形容詞も、著者の主張に関わらない限りは削る。
 ・対象的にせよ主体的にせよ、我々の思索は、必ず何らかの限界にぶつかって難破してしまう。しかし、この難破を通じて、実はより広くて深い地平が開かれてくるのである。

{ 「挫折を通じて超越すること」
 { つまり
 { 「我々の思索は限界にぶつかって難破するが、この難破を通じて広くて深い地平が開かれること」

まとめ
 内容説明問題は、「1」下線部の具体的な内容は何か？と「2」下線部の様に述べられているのはなぜか？の2つ。「1」下線部の具体的な内容は何か？には、「1-A」承前語句なら下線部の前、「1-B」同格語句なら下線部の後ろ」にその答えがある。

パターン2 <下線部の理由・原因>

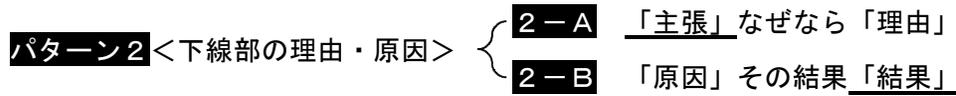
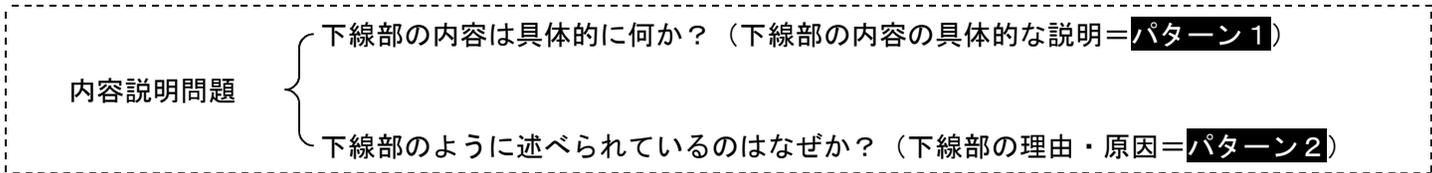
問 次の文を読んで、下の設問に答えなさい。

マナーウォール街での金融派生商品(デリバティブ)の開発には多くの数学者や物理学者が関わった。現代の金融工学で、リスクをすべてコントロールできるはずだった。ところが、リスクのコントロールに失敗して、金融危機が起こった。JPモルガンに勤めていた金融工学の専門家によると、(1)CDS(クレジットデフォルトスワップ)という金融商品は、企業には適用できるが、住宅ローンには適用できないとわかっていたらしい。なぜなら、CDSを適用するためには、完璧なリスク計算が必要だが、住宅ローンでは、それが不可能だからだ

そこで、JPモルガンは住宅ローンから、撤退することにした。ところが、JPモルガンが撤退したことで、2番手以降の金融機関が住宅ローンに一気に参入することになる。結局、JPモルガンのアナリストの予想通り、(2)住宅ローンのCDSは破綻することになる。誰も、住宅バブルがはじけるとは予想できなかったという人がいるが、JPモルガンのアナリストは予想していた。

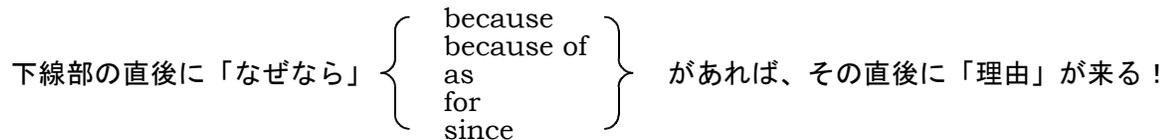
設問1 下線部(1)でCDSは企業には適用できるが住宅ローンには適用できないと述べているが、なぜ適用できないのかを日本語で説明しなさい。

設問2 下線部(2)で住宅ローンのCDSは破綻すると述べているが、なぜ破綻するのかを日本語で説明しなさい。



2-A 「主張」なぜなら「理由」

マネーウォール街での金融派生商品（デリバティブ）の開発には多くの数学者や物理学者が関わった。現代の金融工学で、リスクをすべてコントロールできるはずだった。ところが、リスクのコントロールに失敗して、金融危機が起こった。JPモルガンに勤めていた金融工学の専門家によると、(1)CDS（クレジットデフォルトスワップ）という金融商品は、企業には適用できるが、住宅ローンには適用できないとわかっていらした。なぜなら、CDSを適用するためには、完璧なリスク計算が必要だが、住宅ローンでは、それが不可能だからだ

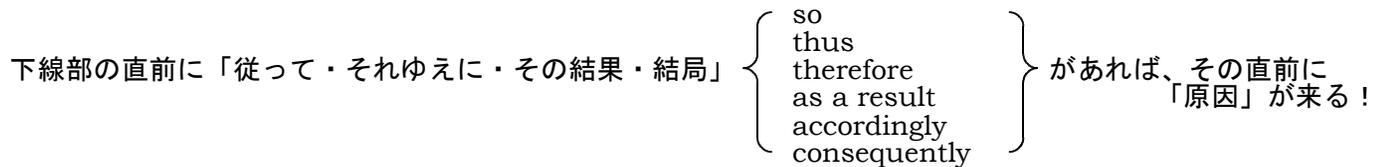


何を削る？

- ・ CDSを適用するためには、完璧なリスク計算が必要だが、住宅ローンでは、それが不可能だから。

2-B 「原因」その結果「結果」

そこで、JPモルガンは住宅ローンから、撤退することにした。ところが、JPモルガンが撤退したことで、2番手以降の金融機関が住宅ローンに一気に参入することになる。結局、JPモルガンのアナリストの予想通り、(2)住宅ローンのCDSは破綻することになる。誰も、住宅バブルがはじけるとは予想できなかったという人がいるが、JPモルガンのアナリストは予想していた。



何を削る？

- ・ JPモルガンが撤退したことで、2番手以降の金融機関が住宅ローンに一気に参入することになる。

まとめ

内容説明問題は、「1」下線部の具体的内容は何か？と「2」下線部の様に述べられているのはなぜか？の2つ。「2」下線部の様に述べられているのはなぜか？には、「2-Aなぜならがあればその後ろ」に、「2-B従って・それゆえにがあれば下線部の前」にその答えがある。